

平成29年第12回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 平成29年12月22日 午後3時00分
- 2 閉会 平成29年12月22日 午後4時05分
- 3 会議に出席した委員
花井 隆教育長、山本明子教育長職務代理者、金田真也委員、
太田孝雄委員
- 4 会議に欠席した委員
土井真紀江委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 大根義久
教育総務課長 伊藤英洋
学校教育課長 杉田哲利
生涯学習課長 富田 成
スポーツ課長 本多剛晴
博物館長 鈴木利昌
文化財課長 増山禎之
中央図書館長 豊田高広
教育総務課課長補佐兼係長 小久保義則
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第12回定例会議事日程

日 時 平成29年12月22日（金）
午後3時00分
場 所 北庁舎2階 200会議室

- 1 会議録署名者の指名
- 2 教育長報告事項
- 3 報告事項
 - (1) 教育委員連絡報告事項
 - (2) 田原市議会第4回定例会一般質問について
 - (3) 小中学校への寄附について
 - (4) 第57回中部・第47回北陸実業団対抗駅伝競走大会の結果について
 - (5) 第12回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の結果について
 - (6) 第66回渥美半島駅伝競走大会の開催について
 - (7) 2018 I S Aワールドサーフィンゲームス（サーフィン世界大会）の開催について
- 4 その他

教育長

開 会 午後 3 時00分

皆さん、こんにちは。

本日は、何かとご多用のところご出席くださりまして、ありがとうございます。

土井委員から欠席の連絡をいただいております。ただいまの出席者は4名であります。

定足数に達していますので、平成29年田原市教育委員会第12回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者として、山本委員と金田委員のご兩名を指名させていただきますので、よろしくお願ひします。

それでは、議題に先立ち、教育長報告事項について、私から報告させていただきます。

11月17日、前回の教育委員会。この定例会の後に文教厚生委員会との意見交換会がありました。

11月18日、童浦小学校の学芸会がありました。童浦小学校は児童数が一番多い学校なのですが、体育館が大変手狭で、体育館の後ろまで人が押し合いへし合いのような様子で、自分たちの学年が終わると入れ替わるというような形でしたが、できるだけ参加者の保護者たちが近くで見られるようにというような配慮がされていて、それはよかったです。

あと、人数が多いので、劇においては主役が4人、脇役も4人ということで、前半と後半をさらに分けて4分の1ずつ劇をやるような形で工夫がなされておりました。一生懸命、子どもはやっておりました。

11月19日、実業団駅伝の大会があり、天気がよく、寒かった感じもしましたが、選手にとっては好コンディションだったかなと思います。

11月24日、年内最後の校長会ということで、冬休みの連絡も含めて、年末年始の過ごし方等が話し合われました。

11月25日、田原市体育協会45周年式典。年末の反省会も含めた会でした。

12月1日に田原市文化協会の反省会も行いましたので、体協、文協、年末に反省会を行っております。

11月29日、東部中学校が全国大会へ向けて、愛知県大会優勝の報告が教育長訪問で行われました。これは市長も参加して、子どもたちの礼儀正しい話しぶりや練習に対する気持ちなどが非常に市長の心を打ちまして、市長が全国大会まで応援に行く経緯をつくった教育長訪問でもありました。

12月に入りまして、田原市議会が始まりました。

12月2日、愛知県市町村対抗駅伝が長久手のモリコロパークで行われました。田原市は後半、盛り返して4位に入賞したということで、代表の選手たちが頑張ってくれました。

市議会の一般質問が、12月4日、5日と2日間にわたって行われました。これについては、また部長から報告があります。

12月9日、市P連の教育講演会が赤羽根で行われました。

12月10日、蒲郡市と田原市のスポーツ推進員の合同研修会。両スポーツ推進員の交流が、こうやって昼の交流から夜の交流まで研修が充実していたというように思います。

12月11日、ワールドサーフィンゲームスの発表記者会見がありました。

12月12日、消防職員意見発表会では、代表の消防職員8名が原稿を覚えて意見発表をするということで、緊張感の中にも、大変きびきびとした意見発表が聞かれました。2名が東三の意見発表会に出場するということで、その選考委員として私も、指導、講評も含めてやらせていただきました。

12月15日、田原市議会本会議が、比較的穏やかなうちに最終日を終えることができたというように思います。

12月17日、小川泰弘少年野球教室が渥美のグラウンドで開かれました。小川選手ともう2名、ヤクルトの1軍選手が来て、子どもたちに身近に声をかけながらの野球教室ということで、今回で5回目の開催ということです。

それと同時に、東部中学校が滋賀県で行われた全国中学校駅伝大会に出場し、全国の仲間としのぎを削りました。多くの田原の人が会場に駆けつけて、しっかり声援していただいたというように思います。

12月19日、文化財保護審議会が行われました。3名の委員が再任されております。

12月21日が交友会。

それで、今日は教育委員会第12回定例会。

月が明けて、1月7日の成人式。

1月11日には、また文教厚生委員の方が見えて、英語の授業参観。もしお時間があれば、またこのときにのぞいていただいてもいいかなと思います。ここで締めさせていただきます。

ということで、そのような形で年末を迎えております。

では、皆さんから何か質問がありましたらお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

では、教育長報告事項を終えて、続いて、報告事項に入りたいと思います。

(1)教育委員連絡報告事項について、それぞれの委員の方々からの

教育長

山本委員

報告をお願いしたいと思います。

では、私から。

11月18日、学芸会で、午前中に神戸小学校、午後は亀山小学校に行きました。

亀山小学校は、今年5年生が「turtle」といって、浦島太郎が亀に連れられて竜宮城に行ったという英語劇をやりました。とてもすばらしくて、指導の先生がとても英語がうまく、指導もうまかったので、本当にリアル英語という感じで、子どもたちはすごく楽しんでできたし、見るほうも楽しめました。校長先生も挨拶で英語を少し話していました。私も、とても勉強になりました。亀山は少し遠かったのですけれども、楽しんでできました。

それから、神戸小学校は、ちょうど最後は6年生だったと思いますけれども女工さんの。

教育長
山本委員

「峠に降る雪」かな。

そうですね。女工さんに行って、それで病気になるのだけれども、結局途中で帰ってくるという話でしたね。いつも泣けるような、上手にされるし、ああいうつらい思いをした昔のそういうものを子どもたちが演じるというのも、いい経験になるのではないかと思います。

11月19日、実業団駅伝でラストのところを見させていただきました。山本修平選手でしたか、最後、すうっと行ってしまっ、1秒くらいしか見れなかったんですけれども、すごく応援が今年はヒートしていました。充実していたし、目の前で事故はなかったのですけれども、とにかく事故がないように、祈る思いで見っていました。

11月24日、校長会ですね。私も長く、もう10年目になるので、何人の校長先生を見てきたかわからないのですけれども、本当に名前が覚えられなくて。でも、やはり校長会に出て、懇親会に出ると、名前も覚える。いろいろなところで、人の名前を覚えて始まる人間関係というのも大事にしないといけないと思うのですけれども、自分でも、やはり人の名前を覚えるのは大事なことなので、これから課長たちも、なるべく私も声をかけなければいけないし、声をかけられたいなというような感じで、もっとコミュニケーションをとりたいなと思いました。本当に学校の四役でも知らない先生も多いので、また太田先生に教えていただけるといいかなと思います。

教育長

そんなところですね。失礼しました。以上です。

ありがとうございました。

金田委員

金田委員、よろしく申し上げます。

僕は、11月18日、田原中部小学校の学芸会に行ってきました。いいなと思って見ていたら1日ずっと最後になってしまったのですけれども、体育館が他校に比べて一回り大きいのですよね。

教育長

広いです。

金田委員

だから、台詞を言っている子の声が、ほかの学校に比べると少し聞き取りづらいなと感じたのですけれども、合唱を聞いたときには、やはり大きい学校はいいなというか、大人数で歌うのはすばらしいなとすごく感じました。今までずっと見てきた劇は、先ほど教育長が、主役もころころかわると言っていたのだけれども、崑山劇を見たときは、1つの劇で3人しか舞台に出なかったり、聞いたら昭和2年から90回目だと言っていて、昔の劇を見ているようで、すごく驚きました。あと、子どもの声も、訓練しているのかわからないけれども、とても通っていて、大きい体育館でも劣らない声を出していて、劇というよりも伝統芸能という感覚で見させていただきました。

また、学校から出たときに近所の美容院の方が出てきたので、どうしたと聞いたら、着つけとか、そういったことを近所の人やっていて、地域とか、そういった理解があって、協力もしてくれているんだなというのを感じました。最後、山本委員が、神戸小学校が終わった後、駆けつけて、なるほど、わざわざ見に来るだけのことはあるんだなと思って感心しました。

それと、次の日、実業団駅伝。僕もゴール地点で見させてもらいました。山本選手が駆け抜けていく姿は、本当に見応えがあって、1月1日のニューイヤースタートは、ぜひともトヨタに勝ってほしいなと感じました。

11月24日の校長会なのですけれども、僕もやはり山本委員と同じように、向こうは自分のことを覚えてくれているので、自分も先生方の名前、この会議の課長の方の名前も、覚えているつもりなのですけれども、実際に話をすると、「あっ」と思ってしまうので、なるべく覚えるように努力しますので、よろしく願いいたします。

12月9日、PTA連絡協議会ということで、講習を聞かせていただきました。毎年、たまに聞くのですけれども、ラジオのパーソナリティとか話が上手な人を呼んで、聞き応えがあっていいなと思いました。

あと、今年はPTAの方々の元気がよくてよかったのではないかと、思って聞かせていただきました。

以上です。

ありがとうございました。

太田委員、お願いします。

よろしくお願いします。

私は、田原南部小学校の学芸会に行かせていただきました。南部小学校は全校92名ですが、低学年がどんどん増えていって、高学年は、6年生が7名、5年生が6名ということで、学芸会の大道具とか照明とか、いろいろ裏方で働くのも学芸会では必要なのですけれども、そういったものに先生方もとてもチームワークよく動いているなということを感じました。校長先生も、来賓の接待をしながら演技の時間を

教育長

太田委員

図っていたりして、皆さんで学芸会を盛り上げようとしているなと思いました。

各学年の出し物については、全て劇でしたけれども、それぞれの学年の発達段階に応じたような作品、高学年は人数が少ないので、配役の少ないような作品を選んだり、その辺も理にかなっているなと思いました。

それから、南部小学校は、かつて研究発表をやったときから、全校の群読を継続して行っておりまして、さすがに長年やってきているだけのことはあって、人数は100名足らずですけども、とても声量があって、迫力があるような群読でした。

もう一つは、全校合唱もやっておりますが、ただ歌うだけではなくて、手話を取り入れた。この手話についても、校区の方の指導を受けた手話ということで、これも地域と結びついているなということを感じました。

冒頭に言いました人数が少ないという点で、金管合奏も行っておりましたけれども、演奏もさることながら、やはり演奏の準備、片づけについては、本当に先生方が、楽器とか椅子とか台とか、そういったものの出し入れを一生懸命やってみえるということを感じました。南部小学校については、これから児童数がどんどん増えていくところで、来年ですと、今の5年生が来年6年生で6人しかいないわけですので、逆に言えば高学年の活躍の場が増えて、いいということですけども、なかなか大変な時期を過ごしていかなくてはいけないというように感じました。

それから、校長会につきましては、私は大変懐かしい思いで出させていただいて、自分は学校経営相談員ということで各学校を回らせていただいておりますが、またそれとは違った話もできたり、校長先生方とのああいう会は大変有意義だったというように思いました。

12月9日に、先ほど金田委員からありましたような、市P連の教育講演会に出させていただきます。戸井康成さんの講演で、「笑顔の会話で心のキャッチボール」ということで、話のお上手な方ですので、ただその場で話をする、考えるのではなくて、常にメモのようなネタ帳を用意して豊富な話題を準備しているということで、そのためには、いろいろなことを観察するのですけれども、ただ観察するだけではなくて、見たもののさらにもう一歩先を考えながら観察するということで、さすがにプロの方は深いなということを感じました。

会話はキャッチボールということで、そのテクニックというか、キャッチボールの必要な部分については、まずしっかりと聞くということ。それから、こちらから話をする場合については、相手を褒めたり、その中に笑いをプラスするというような話し方を心がけているということで、いろいろ長年のお仕事の中でこういうものを培ってみたいの

教育長

ではないかということを思いました。

それから、市P連の全体的な雰囲気は、会長、役員、大変若くて、明るくて、エネルギッシュだなということを感じました。また、チームワークのよさというか、そういうものも、1回だけの会でしたけれども、講演会の中で感じてきました。この講演会の後に小中学校のPTA会長の情報交換事業というのがあったわけですが、そこには参加をせずに、講演会だけで帰ってきました。

以上です。

ありがとうございました。

言いそびれたこととか、何か。

1つ、田原南部小学校、高学年が少なく、私も子どもたちが登校する様子を左手に見ながら、南部の前の道に来るのですけれども、カルガモの登校。6年生も5年生も班長をやらないとだめですけれども、そうすると、1人が高学年で、あと半分以上が1年生、2年生というような。ちょこちょこしてきて、本当に見ていて、若干痛々しいじゃないけれども、高学年の子が責任を感じて、かわいそうだな、だけれども、これも修行だから頑張ってもらいたいという感じで、旗を振りながら、こっちだよって後ろ歩きで、低学年の子どもたちを見ながら背中から歩いている状況を見るにつけ、校長先生には伝えてあるところですが、5、6年生のそういうところを称えてやっておくれというようなことで、何とか高学年の頑張りでやれているという部分がありますので、小さい学校といいながら、低学年が急に膨れ上がる状況は大変ですけれども、何とか乗り切ってもらえたらと思います。

それでは、次に移りたいと思います。

2番目、田原市議会第4回定例会一般質問について、報告をお願いいたします。

教育部長

それでは、一般質問一覧表をご覧くださいと思います。

先ほど教育長報告にもありましたけれども、12月定例会が1日から始まり、4日、5日と一般質問、個人質問が行われました。8名の方から質問がございましたけれども、直接関係したのが7番の杉浦文平議員ということで、次の一般質問通告書のコピーをご覧ください。

内容は、児童クラブ、放課後子ども教室の運営について、現状と改善というご質問を2点いただきました。

この質問をいただくきっかけは、今年9月の決算議会のときに、平成27年度の児童クラブの補助金478万3,000円を返還するに至りました。それが平成28年度決算ということで、この平成29年度の9月議会において決算認定の中でご審議いただいたわけでありまして、要因としては、開所日数であったり、参加児童数によって大きく補助金が変わってまいります。具体的に言いますと、250日以上なのか、未満なのか、あるいは40人前後なのか、もっと少ないのか、あるいは多

いのかというようなことで、予算の段階での見積もりと現実的にだいぶ食い違いがございまして、それで平成27年度分の補助金を平成28年度にお返ししたということがございます。それに端を発して、今回、ご質問ということでございました。

児童クラブと放課後子ども教室の事業目的の違い、それからその住み分けの判断基準、また、なぜこの二つの事業を並行して行わなければならないのかというのが1点目の質問でございます。

それから、2点目としましては、そのクラブと教室の改善点についてということで、子ども会との連携であったり、あるいは低所得者の費用負担などの軽減策とか、今後の改善策についてというご質問でございました。

1点目につきましては、児童クラブは、もともと厚生労働省の事業でございます。したがって、就労支援というのが目的になっています。ですから、昼間、保護者が働いていて、面倒を見る保護者の方がお見えにならないという子どもたちを対象として事業を行うということであります。

放課後子ども教室につきましては、文部科学省の事業でありまして、これは教育という視点の中で、全ての子どもたちを対象にしているという、大きくこういった違いがあります。ただ、行っている事業の内容としては、ほとんど変わらないということでございます。

どういう住み分けかと言いますと、補助金をいかに有効にとってくるかという中で、1つの目安でいけば、20名以上の参加児童が見込めるのであれば児童クラブ、そうでなければ放課後子ども教室のほうが補助制度上、有利だということ。

また一方で、10名未満になってしまうような児童クラブは、補助対象外になりますので、したがって比較的小規模な校区については、放課後子ども教室を採用していますという答弁をさせていただきました。

議員からは、一緒にできないのかということ、わかりにくいし、その事業によって申し込みができるか、できないか、要するに働いていなくてもいいというのが放課後子ども教室ですし、働いていないと入れませんというのが児童クラブなものですから、そこで門戸が広がったり、狭まったりということが要因としてありますので、その点は十分承知しておりますということで、改善といいますか、考えていく必要があるということでお答えをさせていただきました。

また、並行して行うことの妥当性といいますか、統合したり、放課後子ども教室に移動してしまったり、あるいは次の年は児童クラブへという話になりますと、補助金を申し込めるか否かというのが変わりますし、場合によって参加申し込みも、全部放課後子ども教室にした場合には、恐らく申し込みの児童もかなり増えるだろうということ。

裏を返すと、場所の問題であったり、費用的な問題も出てまいりますので、今は並行してやっていますということですが、課題と捉えて考えていきたいということは、お答えさせていただきました。

2点目の児童クラブ、放課後子ども教室の改善ということですが、子ども会とは、曜日とといいますか、活動の時間帯が基本的に違いますので、なかなか連携が難しいかと思いますが、地域とは連携をしながら考えていきたいということ。

それと、費用負担の軽減については、東三河を見ても、生活保護であったり、あるいは児童扶養手当の受給世帯で免除しているのは本市だけであります。生活保護しか免除していないという自治体が3市ほどございますけれども、両方やっているのは本市だけで、拡充されているというように捉えていますので、これは維持、継続していきたいというお答えをさせていただきました。

あとは、多子世帯とといいますか、子どもの数によって利用料が、田原の場合には1人当たり一月5,000円、8月については7,000円という形になっていますが、2人目については半額、3人目以降については無料という形をとっています。新城、蒲郡では、そういった制度はありませんし、豊橋が、2人目は5,000円、3人目は3,000円、それから豊川は、同じように2人目は5,000円、3人目以降は2,000円ということですので、東三河を見ても支援策としては拡充されているほうではなかろうかということで、お答えをさせていただきました。

あとは、サービス向上の考え方はということで、子どもたちをそういった市民館などで行っているクラブや教室へスクールバスのような形で送り迎えできるのかというような話がありましたけれども、そこまでの考え方は今のところはありませんということで、ただ、拠点を定めて毎週土曜日にやれるようなことも検討していきたいと。今は、第2、第4の土曜日だけを開設しているのですけれども、そうではなくて、どういった拠点にするかは別にして、拠点を定めながら毎週土曜日に開設ができないかというような研究していきたいというお答えをさせていただきました。

以上、杉浦議員からいただいた質問に対する回答ということでご理解をいただきたいと思えます。

また、委員会等もございましたけれども、特段問題もなく終わりましたので、あわせてご報告させていただきます。

以上です。

ありがとうございました。

ただいま事務局の説明がありました。ご質問はございますか。

では、続いて、小中学校への寄附についての報告をお願いします。

教育総務課から報告させていただきます。

11月17日付で河合浩様から神戸小学校に対しまして、教育関係の充

教育長

教育総務課長

実のためということで、現金で50万円の寄附がございました。

これにつきましては、ご本人から、最近本を読む子どもが減ったということ、そのような思いもあって、特に高学年のために神戸小学校の図書を充実させてほしいということで寄附がございました。学校医をされている方ということで、その思いもありまして今回寄附がございましたので、ご報告させていただきます。

これは3月議会に上程させていただいて、年度の期間は少ないですが、今年度中に読書の購入をさせていただきます。

以上、報告です。

教育長

ありがとうございました。

小中学校への寄附、神戸小学校への図書購入ということで、河合先生からご寄附をいただきました。ご質問はございますか。

ありがたいことだなというように思います。

では、続いて、第57回中部・第47回北陸実業団対抗駅伝競走大会の結果について報告願います。よろしく願います。

スポーツ課長

スポーツ課からお願いいたします。

11月19日に開催されました実業団駅伝の結果について、ご報告申し上げます。この大会、田原市では6回目となります。

まず中部実業団の結果につきましては、総合順位1位がトヨタ自動車Aチーム。大会新記録でした。以下、1位から9位まで。10位として、トヨタ自動車Bはオープン参加でしたが、総合的に見ますと3位に入っております。すばらしい結果だったと思います。

区間賞につきましては、第3区でトヨタ自動車Aの宮脇選手が区間新を出しております。

続きまして、北陸実業団ですが、YKKチームが大会新記録で優勝しております。

なお、中部実業団の順位9チームのうち上位7チームが、北陸実業団の上位2チームが、本戦、ニューイヤースタートの出場となります。

最後に、学生チームですが、これはオープン参加ですけれども、皇學館大学が1位。以下、高校選抜のチームが4チーム参加でした。大会の盛り上げに、一花も二花も咲かせていただけたと思っております。

なお、今回、大学は1チームのみでしたが、予想といたしましては、今回の大会は模様眺めというところがございまして、来年度はもう少し参加していただけると期待しております。

実業団駅伝の結果については、以上でございます。

教育長

ありがとうございました。

ただいま事務局の説明がありました。ご質問等ございましたら、お願いします。

教育長

いいですか。私、スマートフォンで、いわゆるユーチューブで見ているら、非常にきれいな画像があり、はなとき通りへ行かなくても、

このほうがよく見えるというくらい。途中を見ていたので、最後は画面で見させていただきまして、CBCがやってくれているので、非常によかったし、結構皆さん途中の地点でもそうやって見られているので、だいぶ定着したなという感じがありました。

ただ、応援している地点は、山本委員が言うように、選手は、しゅっと行ってしまいますので、ああいうものも見ながら、来る選手の様子を待っていたりすると、かえっておもしろい楽しみ方があると感じました。

続いて、第12回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の結果について報告願います。

スポーツ課長

引き続き、スポーツ課からお願いいたします。

第12回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の資料をご覧ください。

田原市は、総合4位でございました。もちろん皆さん頑張ってくださいましたけれども、その中でも、5区を走りました吉居選手が区間1位でした。私も初めて現場に行き、応援させていただきましたが、やはりテレビで見るのと現場で見るのとでは、かなり臨場感が違うなど。私も精いっぱい応援をさせていただきまして、とても応援のしがいがある結果でございました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

第9区、岡崎の尾田選手は、少し前までは童浦校区に住んでいて、息子さんも非常に期待のホープで、ファミリーが岡崎へ越していってしまったので、少し残念だなど。田原の9区高林選手、尾田選手ともにトヨタの陸上長距離部OBで、先輩が意地を発揮したというところでした。

1位から5位までは三河ですね。尾張は、江南が一番先頭かな。江南、瀬戸、名古屋ということで、昨年まで名古屋が二連覇でしたが、三河の5チームは例年上位で、結構、駅伝の話題が続いているなというように思います。

では、続いて、さらなる駅伝の話題を、6番、第66回渥美半島駅伝競走大会の開催について報告願います。

スポーツ課長

これは5年ぶりの復活開催となります。大会名が、第66回渥美半島駅伝競走大会でございます。

期日が来年2月4日です。高校男子の部と一般の部は12時スタート、高校女子の部が12時20分スタートです。

コースでございますが、高校男子、一般の部は、赤羽根文化会館西をスタートいたしまして、フィニッシュが豊橋南高校。高校女子の部が、田原東部小学校北をスタートいたしまして、フィニッシュが豊橋南高校となっております。

簡単にコースの概略を説明いたします。赤羽根文化会館の西を12時

にスタートいたしまして、国道42号に出て、大草の信号を曲がりまして、半島の中へ入っていくと。志田公民館、神戸郵便局、豊島駅の手前を右折いたしまして、東部小学校、長仙寺、それから豊橋の城下に出まして、そこから老津駅に向かって折り返しをいたしまして、万場調整池を回りまして、富士見台の前、豊橋南高校フィニッシュという形でございます。従来の距離の約6割程度というようになっております。

この交通規制の関係でございますけれども、1月1日号の広報紙と同じく、回覧という形で市民の皆さんにはお知らせをしていきたいと考えております。また、ほかには、各市民館や公共施設へ配布することや、市の広報紙でも周知をしていきたいと考えております。

このコースですが、我々もこのコースが最終形だとは思っておりません。時間はかかるかと思っておりますけれども、従来のコース、伊良湖スタートの豊橋技科大ゴールという形になるように努力していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

なお、走路補助員のボランティアには、従来、協力をお願いしておりませんでしたけれども、校区からも総勢130名のボランティアの皆様方の協力依頼のお願いをいたしました。ご迷惑、ご心配をおかけしたりするかもしれませんけれども、よろしく願いいたします。

渥美半島駅伝については、以上でございます。

教育長

ありがとうございました。

事務局から説明が終わりました。ご質問等ございますでしょうか。要するに、42号線を最小限にするというところですね。

スポーツ課長

はい。このコースになった一番大きな理由は、事故がありまして、基本的には1回事故が起きれば、その大会は中止です。もう復活もありません。けれども、何とか復活させたいということで、警察との話し合い、警察協議の中で、こういう形で何とかお願いしますということで、復活という形にさせていただきました。

教育長

ということで、赤羽根、大草間が42号線を通りますが、できるだけ主要道は避けてということで、万場調整池あたりも走るといって、少しくねったコースになっているというように思います。

例年、私も伊良湖から出発のときには和地の学校で見ていたこともあるのですが、高校生などが、Aチーム、Bチーム、Cチームというように参加できますので、いわゆる補欠になるような選手も、今回こういう渥美半島駅伝だと選手として走れるということで、東海3県を越えて多く集まってくる大会でもあります。今回、復活第1回ということですので、また注目していただいていた方がいいかなと思います。

よろしいでしょうかね。

先ほど言いそびれたのですけれども、吉居君のタイムが出て。

スポーツ課長

失礼しました。

教育長

実は吉居選手、今回の愛知駅伝のときの5区の中学生区間で区間タイム。彼は今、中学2年生で、大草小学校のときから結構速くて、小学6年生のときも区間タイム。それで、中学2年生でも区間タイム。来年も恐らく吉居君は出ると思うのですけれども、タイムを見てもらうと、岡崎の子以下、17秒差があるというのは、相当距離があり、ほかはあと、非常に拮抗していますので、若干飛び抜けているタイムが記録できる選手です。また来年も東部中学校を引っ張って、彼がリードしていくかなということですが、ジュニアオリンピックでは1,500メートル全国2位でしたので、実績を持ってまた来年を迎えるということで、期待が高まります。あと、駅伝といえば周りの選手も大事です。そういう点もうまく渥美半島の名前をとどろかせてもらえるといいかなというように思います。

では、続いて、最後に7番、2018 I S Aワールドサーフィンゲームスの開催についての報告をお願いします。

スポーツ課長

引き続き、スポーツ課からお願いいたします。

2018 I S Aワールドサーフィンゲームス、いわゆるサーフィン世界大会の開催についてでございます。

大会概略でございますけれども、この大会は「サーフィンのオリンピック」として最も権威のある認知度の高い大会として位置付けられております。オリンピックといたしますので、プロもアマも、有名選手が一堂に集まって競争、競技を行うという形でございます。

目的は、この大会を開催することで、多くの方が田原市に集まり、サーフィンを通じた交流人口の拡大や、移住、定住の促進、地域の活性化につなげることを目的としております。

期待される効果として、四つほどございます。経済波及効果が期待できること。観光、農産物等の情報発信ができること。地域の活性化を図り、移住、定住促進が期待できること。サーフィンについて魅力的な地域であることを印象づけることが期待でき、特にサーフィン競技ですけれども、スポーツ振興につながるというものでございます。

大会概要ですが、開催日は、来年9月15日から22日の8日間。

開催場所でございますけれども、開会式やパレードは田原文化広場周辺ほか。競技会場については、赤羽根町大石海岸（ロングビーチ）、または赤羽根西海岸（ロコポイント）、そのどちらかとなります。波の状態を見てどちらかに決めるということでございます。

主催は、国際サーフィン連盟（I S A）でございます。

主管、この主管というのは大会運営の責任団体ということでございまして、日本サーフィン連盟（N S A）と実行委員会を設立いたします。来年1月に、この実行委員会を立ち上げてまいりたいと考えておりますので、この両者が連携して行っていきます。

共催は、田原市、田原市教育委員会。

後援は、愛知県、愛知県教育委員会ほかを予定しております。

出場国については、約50カ国の参加予定。

出場選手については、約300名。

観客数については、8日間を通しまして3万人から4万人程度を見込んでおります。

大会費用の見込みでございますけれども、大会運営費は、合計で1億3,000万円程度を見込んでおります。

なお、この1億3,000万円のうち、田原市の負担金といたしまして、3,000万円を拠出予定でございます。

最後に、経済波及効果の推計値でございますけれども、4億円程度を推計しております。

なお、この金額につきましては、総務省のこういった国の計算ツールがございまして、例えば宿泊数の見込みとか選手の数とか、いろいろ数値を入力いたしますと、この4億円の経済波及効果ということでございまして、これは全国に広がっていく金額というように捉えていただければ結構でございます。田原市といたしましては、この大会を起爆剤にいたしまして地域の活性化を行っていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

なお、この大会の開催日、9月15日から22日ということで、田原のお祭りが重なります。開会式場、開会式やパレードですけれども、田原のお祭りの実行委員会とも、これからお話をしていくのですけれども、調整をしていきたいと考えております。

それと、先ほども申し上げましたけれども、来年1月1日から、ワールドサーフィンゲームスの準備室が設置されます。実はスポーツ課の水口主幹が室長となり、ほか2名、合計3名の職員体制を図りまして、準備に余念のないようにいたしたいと考えております。

スポーツ課からは以上でございます。

ワールドサーフィンゲームスの説明がございました。ご質問、ご意見、いかがでしょうか。

忙しいね。

すみません。もう1点、9月15日から22日は、田原のお祭り、このサーフィン大会、もう一つ、ソフトボール協会全国女子のソフトボール大会がございまして、それが9月14日から17日まで。9月14日が開会式でして、それが田原の総合体育館。9月15日から17日にソフトボールの試合がございまして、全国から各都道府県1チームずつ出てきますので、約50チームくらい。選手といたしましては、総勢1,000名の方が総合体育館に集まります。

競技は3会場で行います。田原市、豊橋市、蒲郡市、3会場で分散して行いますけれども、開会式には、その1,000名プラススタッフ200名、合計1,200名が集まることとなりますので、その辺の、お祭り、サ

教育長

金田委員

スポーツ課長

教育長
山本委員
スポーツ課長

サーフィン大会、ソフトボール大会、調整が難しいな。宿泊のことも含めまして、これから調整していくことが多くなっていくかなと思っております。

以上です。

ということで、9月の田原のお祭り近辺は、田原史上。

3倍くらい、スタッフを増やさないといけない。

そうですね。その前にトライアスロンもございますし、これが終わると実業団駅伝、それが終わると半島駅伝ということで、目白押しでございます。

教育長

ということで、うまく分散されるといいと思うのですが、サーフィンが終わってすぐにこうなるところで、スポーツ課、増強していかないと、教育委員会全体で全面的にバックアップ、教育委員会だけでは済まないワールドゲームです。

ISAは、インターナショナル・サーフィン・アソシエーションということで、英語の文書も来ております。

今年、台風も来ておまして、警報で田原のお祭りも中止になっておりますので、来年はいいかなという保証はないものですから、いろいろ心配は尽きませんが、何とか神頼みをして、うまくいくようにと思います。

以上で、ワールドサーフィンゲームスについての報告を終わりたいと思います。

教育長
教育総務課長

その他で事務局、何かございますでしょうか。

この定例会終了後に、また年明けからの日程調整をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

博物館長

博物館から、お願いします。

本日、封筒の中にご用意させていただきました、現在開催中の保美貝塚の展示会の案内でございます。

こちらは、年明けの28日まで開催しております。年末年始というのは、皆さん掃除とか、年始で非常に忙しいと思いますが、こちらも全国をにぎわせておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

教育長
博物館長

田原の3大貝塚の1つ、保美貝塚の企画展でございます。

お子様にも喜んでいただけるようなワークショップといいますか、ちょっとした飾り物ができるようなことも用意してございますので、ぜひ。

教育長
博物館長
教育長

それから、やはり縄文原人服で写真撮影も。

わかりました。はい。

そうでもしないと、なかなか子どもたち、これを見て、「これって何」になるかなというところで、ぜひ上手な説明で引き寄せてもらえたらというように思います。

そのほか、いかがでしょうか。

最後、委員の皆さんから何かございましたら。
では、ないようですので、本日の議事等は全て終了いたしました。
ご協力ありがとうございました。
これをもちまして、田原市教育委員会第12回定例会を閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。

閉 会 午後4時05分

(会議録署名人)

教育長

委 員

委 員